

生活充実宣言!!

Creative Life

ひとりひとりの生きがいと
豊かな生活基盤を創るために。

岡山県議会議員

太田正孝

県政だよりVOL.4 平成21年 新年号

編集責任者：太田正孝 TEL.(086)201-5523



家族お揃いで

輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます



旧年中は大変お世話になり、誠に有難うございました。

昨年は知事選挙があり、節目の年でした。

今年四月に岡山市が政令市に移行します。飛躍のチャンスです。是非とも元気な岡山市になるように、岡山県からも応援します。そのことが岡山県再生のきっかけにもなると信じています。

また、政治的には衆院解散総選挙、市長選挙があり、岡山の方角性を決める大事な年です。必死の取組をします。



岡山県議会議員

おおた まさたか
太田 正孝

皆様のご理解ご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。本年一年が皆様にとりまして素晴らしい一年になりますことを心からお祈り申し上げます。

岡山県知事選挙結果



●石井正弘氏……………

三六八、〇九五票

●住宅正人氏……………

三二〇、六七七票

昨年8月27日に発表された財政構造改革プラン(素案)の是非が問われた昨年10月26日投票の県知事選挙では、石井氏と住宅氏が激しい選挙運動を展開しました。

住宅氏は県南の岡山市、倉敷市、早島町で勝ち、石井氏を猛追したものの、石井氏が四選を果たしました。

石井知事はこれからの四年間厳しい舵取りを迫られると思います。県民のためにしっかりと県政運営に努めて頂きたいとお願ひしたいと思います。

特集

岡山県の財政再建計画について

県知事選後、市長会をはじめ各種団体との交渉を持った石井知事。知事の出した結論は、改革プランの目標総額の減額です。総額は405億円から396億円に後退しました。職員給与カットも総額を20億円減額し、120億円

にしました。心配は減額しただけ不足する財源です。知事の出した結論について検証するとともに、今後の岡山県政の流れを考えるとどうなるのか……。太田正孝の考えを次のようにまとめました。

県職員給与 74%カット

昨年11月16日、当初9.5%給与カットを打ち出していた県当局は組合と平均7.4%の給与カットで合意しました。私学助成費のなかで私学職員給与経費が復活されたことを考えると、小幅に留めることもできたとも言えますが、どうして復活額に差が出てしまったのか、不可解です。基本的な考え方が希薄であったと言えます。そうした姿勢のツケが今後に来るのが心配です。

知事の配慮の意味は?

昨年9月定例県議会で復活を求めたところであり、復活は当然とした。この他、市町村が必要とするものが概ね認められたことは良かったと考えています。しかし、目標額は財政再生団体に転落しないためのものであったので、その目標額が下げられれば、当然転落の危険性が高まったということになります。

一般施策費は9億円後退

また、一般施策費も素案より減額されていて、素案で示されていた405億円の計画案も396億円に後退しています。岡山市の保健所整備費補助金は平成4年に協定書が結ばれていて、私も

今回の一連の素案作り・復活折衝で、知事は「配慮」という言葉をよく使われました。素案で四つの分野を配慮し、今回も関係団体との交渉の中で配慮を見せました。私は素案での「配慮」と今回の「配慮」は大きく意味が違ふと感じています。物指のない配慮の結果、帳尻合わせに四苦八苦せねばならないことになりました。



昨年の議会質問中の太田正孝

によって特定されているにもかかわらず、苦肉の策で知事が認める範囲内で一般財源に運用されることを認めています。こうでもしない限り、県の一般施策が展開できない状況です。ただ、この手法も限界にきています。本年度末の特定基金残高の総額の見込み額は、50億円です。

素案では44億円の不足

現在打ち出されている財政構造改革プラン(素案)では、来年度特定目的基金から44億円を運用する計画を立てており、今のような予算復活をすれば44億円だけでは足りないような状況が生まれます。

見直しでは91億円不足します

知事は配慮に配慮を重ね予算を戻した結果、来年度91億円の歳入不足という予測が出されています。この歳入欠陥は50億円の特定目的基金残高だけで対応をすることは不可能です。

新たな財源は

果たして、新たな財源はあるのでしょうか。見直し案でも借金による歳入増を5億円から10億円にと高く見積もられています。これは細部を詰めた結果、10億円までは

できるとことが判明したと説明されています。こうしたものだけでは限界です。もしも新たな財源を求めるとすれば、私が9月定例県議会でも提言した知事が発行しないとされていた借金「行政改革推進債」の発行をすることがないように考えます。もしくは、県立大学への交付金約25億円等大きな支出についてついてもっと切り込むようなやり方を考えるのではないかと思いを巡らせざるを得ません。

剰余金を財源にできるのか?!

そうしたなか、一般会計の剰余金で41億円の不足を補うという話が出ています。県議会の委員会でも指摘が出ていますが、予算を組みながら、初めから剰余金を当てにするような予算というものがあるのかというものです。財政当局の説明を聞くと、社会保障費関係で余裕を持って組んでいる、そこで毎年40億円程度の余裕が出せるように予算を組んでいるとの話が返ってきました。社会保障費で不足が起これると、困った県民を路頭に迷わせることになりません。当局の説明にも頷けます。しかし、ここまでしなければ予算編成ができない岡山県財政は正に非常事態です。

キャッシュフローの改善を

調査を進めると、心配は大きくなるばかりです。今回の財政構造改革は歳出カットが中心でした。今後は、問題の根本であるキャッシュフローの改善につながる政策をうたなければなりません。私もそのために知恵を絞り、もった汗をかくことをお誓いします。

国が緊急支援制度を実施しています

10月31日にスタートした緊急保証の枠が6兆円から20兆円まで拡大されました。対象業種は、11月14日に73業種を追加し、618業種になりました。

この緊急支援制度は、信用保証協会の100%保証です。責任共有制度の提供はないということです。

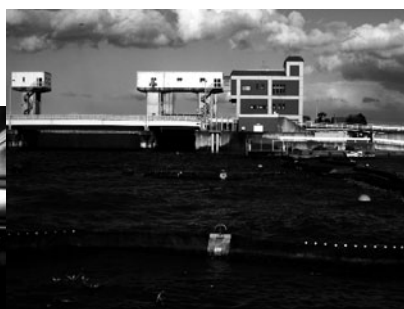
対象業種の方は、一般保証は8000万円に加えて、別枠で8000万円までの保証も利用できるということです。

県内の保証承認実績額は、12月4日現在で168億円(843件)になっています。11月25日ぐらいから急激に増えています。

どういふ方が対象になれるのかということですが、条件に合うかどうかを市町村が認定します。条件とは、売り上げの減少・利益の低下等についてです。詳しくは、各市町村に相談をしてみてください。

児島湖視察記

児島湖はきれいになっていきます



漁船から見た児島湖の締切堤防(手前はホテイアオイ回収用の浮き)



漁船に乗り込んだ太田正孝

昨年11月18日、「児島湖をきれいにする議員懇談会」の県議会議員有志と県当局総勢約30名で児島湖の様子を漁船で視察しました。

ルートは、新岡山港から漁船に乗り込み、締切堤防のゲートを開けて頂き、児島湖に入りました。それが簡単に入ることができないのです。潮の関係で水位が150cm以上違っていたのです。二つのゲートがあり、まず児島湾側のゲートを開け、ゲート間に船が入ると閉めます。次に、ゲート間の水位が進行先の児島

特定目的基金の目的外運用が常習化

特定目的金は運用目的が県条例

特定目的基金はせつ底

本年度は基金の残高総額が9億円になるまで基金からの繰り出しを認めていて、基金はもう底をつくような状態になっています。

これ以上の借金をしない

知事はこれ以上借金をしないと断言しています。ついでに、特定目的金からの繰入しかないはずで、特定目的基金とは、条例で定められた目的のためにのみ使うことが許されている基金です。例えば、県内の市町村が運用している介護保険に赤字が出た場合、困らないために「介護保険財政安定化基金」が設けられています。その他にも33の基金があります。

財政危機の自治体を視察 議会にもあります



北海道で発見したジャンボキャベツにびっくり

昨年10月30日、県議会の特別委員会で北海道歌志内市を視察しました。

ここは全国一人口の

少ない市です。ピーク時に4万6千人いた人口は現在4万800人になっていきます。そして、これからは毎年120人前後自然減していくとの予測も出ています。

この市は、夕張市と同じく県知事の許可を得ずに起債（借金）をし、夕張市と同じく国からは正が求められました。改善策として、直営していた施設を公社に約16億円で売却するなどして、窮地を凌いでいました。

どうしてこうなったのかとお訊きすると、平成12年度に法改正で手続きが変わったことをよく理解できずにいたためで、単なる手続きミスともとれる話が返ってきたりしました。さらに、これしか市が破綻せずに切り抜ける方法はなかったと言わんばかりの説明もあり、私は閉口してしまいました。

(3) また、市議会議長、市議会副議長からも意見をお伺いすることができました。市当局の巧みな歳入操作を見抜けなかったと部分もあ

ると思いましたが、議会の歳入チェックが甘かったように感じました。二度とこのような問題を起させないためにはどうすれば良いのか。

まず、言い訳を考えることをやめるべきです。謙虚になって、その時、他の選択肢として何があったのか、なぜ自分はそうしなかったのかを考えるべきです。そこから始めなければなりません。

これは私自身の戒めでもあります。岡山県再生に活かしてゆきます。

道州制の先進地・北海道の調査 市町村へのきめ細かい 助言・援助に苦勞を していました



北海道議会視察

歌志内市を視察した翌日、道庁を訪ねました。前日の歌志内市で聞いた「めったに道議会議員とお会いしたことがない。

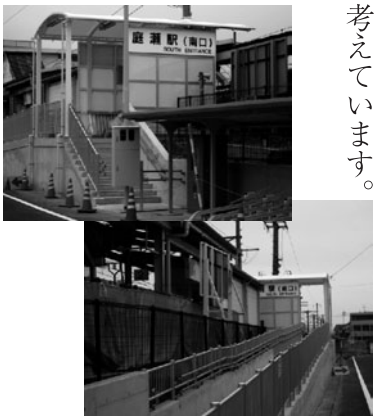
県議会の視察を受けていると緊張する」という言葉が妙にひっかかりながら、調査テーマ「道州制及び出先機関の仕組」についての道庁職員の説明を聞きました。

北海道は厳しい財政状況にある市町村を何とか支援しようとしています。支庁単位で行政が行われているため、4千800人という小さな市に対してきめ細かい助

言援助をしようにも限界があるということがよく分かりました。このことは、歌志内市から見れば、遠い存在であるということですから、前日の言葉が出たのだと思います。

庭瀬駅南口 昨年12月13日にオープン

市議会議員時代から訴えていた庭瀬駅の南口がやっと開設されました。これはJRが利用者数の多い駅には自動改札を設置しようとする流れにのることができたためです。庭瀬駅南側は急激な宅地開発も進んでおり、南側に住んでいる人の利便性が益々向上するものと思います。私としては、庭瀬駅の東・西踏切の通過交通も増加すると思われまので、今後はこの問題にももっと力を入れてゆきたいと考えています。



県政報告会を やっぴつた。



地域の方に財政問題を説明する太田正孝

岡山市北西部の道路整備期成

会の会合と併せて、私の県政報告をさせて頂きました。道路は念願叶って、本年度測量設計費が計上され、12月上旬には境界線立会いが行われます。一方、私の県政報告では、政令市移行に伴って、県行政・市行政がどのように変わるのかに力点を置いて参加した14名に対して報告を致しました。北区の土木農林事務所の機能はどうなるのかという具体的な質問についても知っている限りのことを説明させて頂きました。終了後、私にとりましても有意義な時間を送ることができたと感じました。

県政報告会は、私としても是非させて頂きたいと思っております。ご要望をお待ちしています。ご連絡は紙面掲載の連絡先までよろしくお願致します。（電話でもインターネットでもどちらでも構いません）

湖の水位と同じになったら、もう一つの児島湖側のゲートを開けて、児島湖に入ります。この移動する間に、飛び跳ねる鱈の大歓迎を受けて、船の中まで水飛沫が飛んできました。

児島湖のなかでは、水が澄んでいました。透明度は30cmとの報告もありました。児島湾の海の透明度とは大きな違いです。それから少々臭いもしてきました。それでも漁礁には魚の姿を多数見ることができました。

行政が莫大なお金を投下して、浚渫したり流域下水道整備したりして効果が出ているとのデータも出てきました。ただ、視察をするとまだ浄化にはほど遠い状態であることがよく分かりました。

締切堤防ができて50年経つということでしたが、これからも下水道整備を進めるとしてもどれだけすれば、きれいな児島湖に戻るのだろうか。本当に大きな課題であることだけは分かりました。これからについては新しい技術の開発に期待しつつ、県民一人ひとりが児島湖をきれいにすることという運動は続けていくことが児島湖の水質を守ることにつながっているということだけは忘れてはいけません。

岡山市が政令指定都市に移行

昨秋の閣議で、本年四月一日に政令指定都市に移行されることが決定されました。私が市議会議員時代に一生懸命取り組み、県議会議員としても県の承認手続きにも深く関わることができましたことは、大きな喜びです。

さて、現在の動きですが、県から土木関係職員25名、児童相談所の関係職員10名の合計35名が岡山市に派遣される

円滑に事務事業が移譲され、市民サービスが向上されるように、私のこれまでの経験を役立たせられるように、これからも頑張ります。

中央警察署へ名称変更

東警察署が「中央警察署」に名称変更する予定です。また、西大寺警察署は「東警察署」になるといことです。

なぜ、中区にあるのに中央と言ったのかと申し上げますと、現在の東警察署の所管に県庁や天満屋、田町などが入っているため、中警察署ではなく、中央警察署の名前を使うということになっています。

私としては、この所管が西川で境界とされているので、せめて岡山駅東口は全て中央警察署の所管にあわせて変更



するべきではないかと、意見を申し上げます。

今回は、移行準備の時間が足らなかつたことも理由の一つに上げられています。名称もさることながら、中心市街地一帯が一体的に守られるように中央警察署（仮称）の所管区域の変更を求めてゆく考えです。

あんな話題！ こんな話題！

エコレンジャー参上

第9回吉備っ子ふれあい祭が「環境問題」をテーマにして昨年11月1日に開催されました。地域の多くの幼稚園児、小学生の参加があり、主催者の皆さんは大変喜んでおられました。今回のヒットはエコレンジャーです。エコレンジャーに扮したメンバーが、環境問題への取組を呼びかけました。

私もエコ・レッドになって、リサイクルの必要性を訴えました。呼びかけ方を工夫したことで子どもたちの関心が深まったことには、良い勉強となりました。



エコレンジャーTシャツを着た太田正孝

ふれあいコンサートで地域の絆を

昨年11月24日、中国学園大学音楽ホールで第18回ふれあいコンサート（二回公演）が開催されました。このコンサートは地元の手作りの催物で、大学教授のテノール独唱、ピアノ演奏に会場へ足を運んだ子どもたちは素晴らしい音に聞き入っていました。また、吉備中学校合唱部のミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」には大きな拍手がありました。

こうした行事を通して、地域の絆が深まることを感じます。



てくてくまさたか 日生『カキおこ』に行列



大きなカキの入った「カキおこ」

「日生に新名物あり」との情報を得て、早速備前市日生に直行しました。岡山市からはブルーラインで一直線めします。

日生の看板を見て、ブルーラインをおりて、日生の商店街に入ると、お好み焼きの看板が立ち並んでいるのに驚かされます。休日に行つたため、行列のできたお店も珍しくありません。お目当ては『カキおこ』です。

『カキおこ』とは、カキ入りのお好み焼きのことです。カキはもちろん日生のもの。私も食べましたが、お好み焼きへのカキのトッピングは絶品。一度は話の種にいかがでしょうか。また、イ

編集後記

麻生総理が自民党総裁選に立候補した時の「現在の問題は不満が多いことではなく、不安が多いことである。」との言葉は、私の脳裏から離れません。

続けておっしゃられたことは、「不安を解消することは難しい」ということです。これも良く理解ができます。

ところが、総理になられてからの発言について色々な声

が出ています。もっと正確に発言して欲しいと願っています。そして、実行を期待します。総理は実行するために、総理になつたはずですよ。



同志の方とともに!!

(MO)